

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成30年1月16日

計画の名称	1 地域振興拠点施設（仮称）整備計画			
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）	交付対象	埼玉県	
計画の目標				

- 埼玉県では、県内5か所に地域振興拠点を整備することにより、県土の均衡ある発展を目指している。これまで、ソニックシティ（中央地域）、SKIPシティ（南部地域）、ふれあいキューブ（東部地域）といった地域振興拠点施設を整備してきた。このため、残る西部地域においても地域振興拠点施設を整備することにより、産業振興を図り、にぎわいを創出する計画である。
 - ・ 川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業（西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称））
 - 西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備事業は、埼玉県西部地域活性化のシンボリックな施設として、県西部地域の資源や特性を生かし、自立性の高い地域づくりに向け、次の3点を目標に整備する。
 - 1 「産業支援・次世代を担うひとづくり」の推進
 - 2 地域住民の活動・交流の促進
 - 3 にぎわいの創出

計画の成果目標（定量的指標）

- 県西部地域における地域振興拠点施設の利用者数等の増加により、新たなにぎわいの創出を図る。
 - ・ 西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）の整備による施設の利用者数及び中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25年度)	中間目標値 (H26年度)	最終目標値 (H26年度末)	
新規で整備される西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）の利用者数	0人/日	1,400人/日	1,400人/日	
川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業を含めた定点における平日及び休日の川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行量	20,826人/日	23,000人/日	23,000人/日	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,303 百万円	A	1,303 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を産業労働部社会資本総合整備計画評価検討会議に報告し、参考意見を聴取した。	平成28年度
	公表の方法
	埼玉県産業労働部産業支援課のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	再開発	一般	埼玉県	直接	埼玉県	川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業	公共施設、交流広場等、約1.5ha	川越市						1,303	H23-H24:地域自主戦略交付金
合計													1,303		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
その他関連する事業															
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
								H25	H26	H27	H28	H29			
1-A'-1	再開発	一般	川越市	直接	川越市	川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業	公共施設、交流広場等、約1.5ha	川越市						9,540	
合計													9,540		
				A'	9,540 百万円	B'	0円	C'	0百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))			0.0%		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		西部地域振興ふれあい拠点施設を整備することにより、本施設だけでなく、川越駅西口周辺地区に新たなにぎわいを創出することができている。また、本施設により川越駅西口周辺地区に新たな利用者呼び込み、川越駅周辺のにぎわいにおける東西のバランスが向上している。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（新規で整備される西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）の利用者数）	最終目標値	1,400人/日	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 本施設は、展示会や講演会、レセプションなどに利用できる多目的ホールや約1,700人を収容できる劇場型多目的ホールのほか、県地域機関や公民館、会議室や活動室が利用できる市民活動・生涯学習施設なども整備しており、利用者の様々なニーズに応えられる施設であること。 本施設は、川越駅や国道16号からアクセスでき、川越駅から徒歩5分と施設が利用しやすい環境にあり、利用者から高い評価を得たこと。 	
		最終実績値	1,770人/日			
	指標②（川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業を含めた定点における平日及び休日の川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行）	最終目標値	23,000人/日	目標値と実績値 に差が出た要因		<ul style="list-style-type: none"> 本施設や隣地に併設された商業施設により、集客性が高まったこと。 川越市による川越駅西口駅前広場の改修など川越駅西口周辺地区の整備が進み、本施設利用者以外の通行が増えたこと。
		最終実績値	31,959人/日			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・本施設では、交流広場も利用した大規模なイベントが開催され、交流広場も集客性を高める要因となっている。				
3. 特記事項（今後の方針等）						
・埼玉県及び川越市主催イベントの実施や、指定管理者による大規模催事の誘致など、本施設から生まれる更なるにぎわいの創出を図る。						

(参考図面)市街地整備

計画の名称	1 地域振興拠点施設(仮称)整備計画	交付対象	埼玉県
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)		

概要図

 事業対象用地



全景



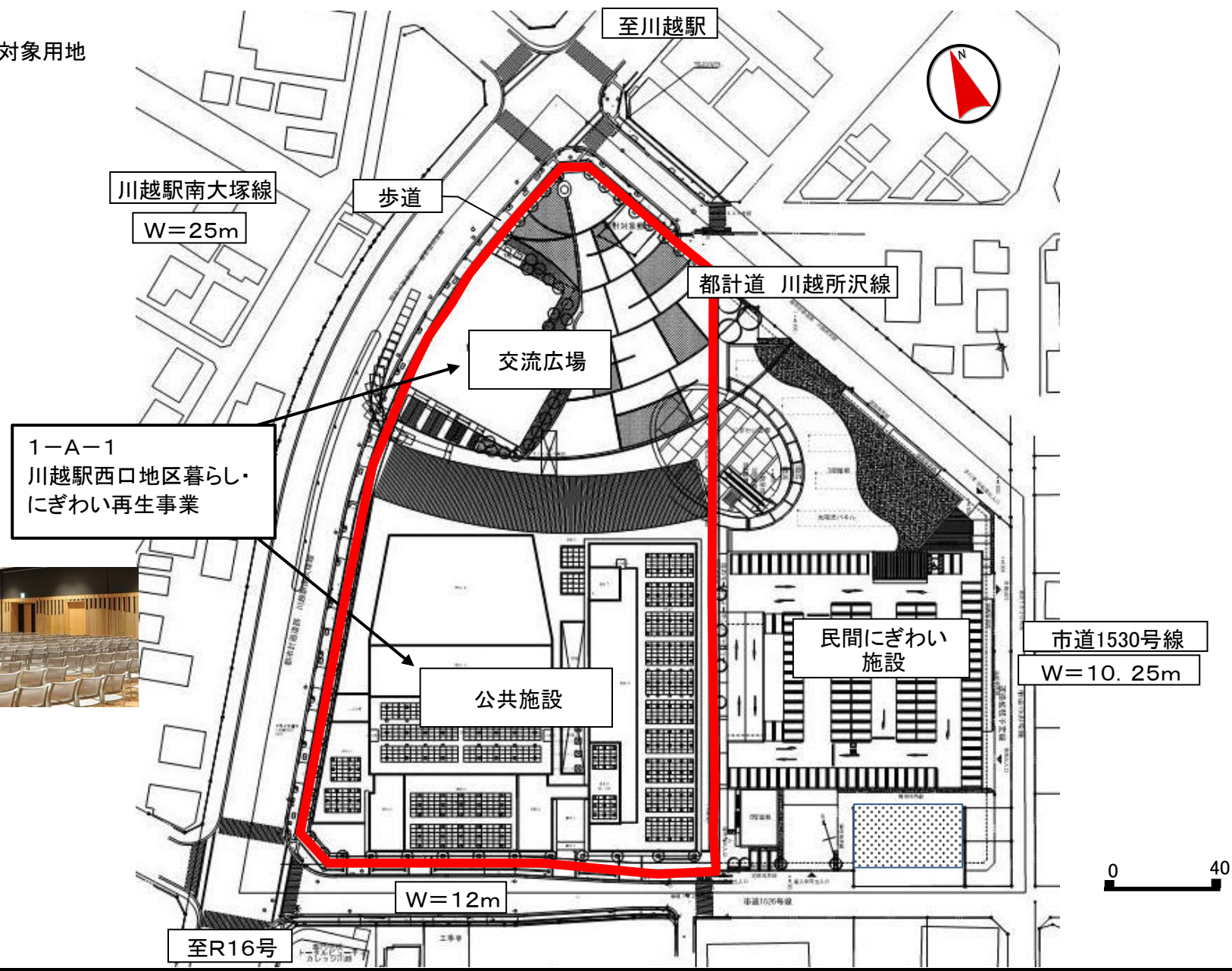
劇場型多目的ホール (市)



多目的ホール (県)



交流広場におけるイベント



1-A-1
川越駅西口地区暮らし・
にぎわい再生事業

公共施設

民間にぎわい
施設

市道1530号線
W=10.25m

W=12m

至R16号

0 40